

## 「働くことと向き合おう」～職場体験学習～

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力  
 他者とかかわる力 社会貢献力 自己形成力

## 単元について

## ○生徒観

本学年の生徒は、1年次には、自らの職業レディネステストや職業に就くまでのロードマップを作成することを通して、職業についての理解を深めるとともに、次年度に行う職場体験や2年後に迫る進路選択に向けて、自らの将来像をどのように持ちどう設計していけばよいかという「将来設計」に係る力と「職業観や勤労観」を育むことができた。

また、学習に対する意識としては、次の表1の通りであった。

表1 第1学年生徒アンケート

アンケート項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
①授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	56.1%	29.4%	11.4%	2.6%
②授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。	39.0%	49.1%	8.3%	3.1%
③「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	37.3%	47.8%	11.4%	3.1%

(平成27年12月20日228名)

表1の①から分かるように、『他者とかかわり通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている』という項目に関しては、過半数以上の生徒が「よくあてはまる」と回答している。普段の授業においても、グループ学習やペア学習等で、積極的に考えや意見の交流が行われている。

しかし、表1の②と③では、普段の学習において、『解決しようとする課題に対して「なぜだろう」、「やってみたい」と思います』と『自ら課題を設定し自ら解決したことを発信する活動に意欲的に取り組んでいます』という項目に対しては、「よくあてはまる」と回答した生徒が半数を大きく割っている。このことから、自ら疑問をもち、関心意欲を持って課題解決に向けて取り組むことに課題があることが分かる。

## ○単元観

本単元は、第2学年の総合的な学習の時間における「地域理解・社会貢献」を学習する単元と位置付けており、職場体験を通して、地域で働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、将来の働く自分を見通し、その成果を生活の中で生かそうとする資質・能力及び態度を育てることをめざしている。

具体的には、職場体験により、生徒自身が関わった事業所や施設の現状と課題を見いだすことを通じて、その事業所や施設に対して「何かできることはないか」「もっと地域の職業を盛り上げることはできないか」をテーマに生徒たちが考え、整理し、まとめ、発信していくという単元である。この学習を通して、地域の職場での体験学習や事前、事後の活動を通して、「働くとはどういうことか」を主体的に学び、「自分たちにできること」を探求的に考え、その成果を職場や地域に返していくことで、自らの意欲や価値観が高まると考える。

また、地域の中での活動は、学校外の人とのふれあいや新しい体験が豊富にある。そこから、「課題の発見」「課題の設定」「課題解決」に向けての活動を通して、自分なりにできることを考え行動できる生徒を育てるとともに、課題解決の過程において筋道を立てて取り組む姿勢や協働して課題を解決する過程を通して、地域の誇りを持ち、自分と地域のこれからについて考え、社会に貢献するよりよい生き方をしていこうとする態度を育成できると考えこの単元を構想した。

## ○指導観

指導にあたっては、1年次の総合的な学習の時間でどのようなことを学び、地域に向けてどのような発信をしてきたのか、また、どのような力を身に付けてきたのかを交流することで、目指すべき活動や学習のレベルをイメージさせる。

本単元は、自らが見いだした課題に対して、他者と協働して課題解決へと導き、その成果を地域へ発信できるように指導していく。そのために、「課題発見・解決学習」の6つの学習過程を生徒に意識させ、探求的な学習、そして自己形成につながるような学びにする。

学習過程の各場面においては、以下の内容に重点をおいて指導を行う。

課題の設定の場面では、1年次に制作した「ロードマップ」を交流し、様々な職業に関心を持たせる。職場で働く大人や仕事への「あこがれ」や、体験を通して感じた自分の「可能性」から課題を設定する。また、職場体験に向けて、今の自分に足りないものがなんであるか、職場体験を通じてどのような力を身に付けたいのかなど、勤労観・職業観につながる課題もしっかりと考えさせたい。

情報収集の場面では、まず、ゲストティーチャーを招き、働くこととはどういうことかを学ぶ。この活動により、社会人として身に付けるべき力、例えば、所作であるとかマナー、礼節について理解を深めるとともに、スキルとして不足している自らの現状をしっかりと認識させ、活動に必要なスキルを演習・習得することの必要性を感じさせることで、その後に設定するマナー教室にも意欲的に取り組むことができるようにする。

整理・分析の場面では、本単元を学習する過程において、自らが設定した身に付けるべき力や自分の考えがどのように変容したのかを生徒自身が見取れるように、特に表やマトリックスを用いて整理させることで、変容が視覚的に見取ることができるようにする。このことで、単元の終末における振り返りの際もまとめがしやすくなるを考える。また、このような整理・分析の仕方を教科等でも関連を意識しながら指導することで目的に応じたツールを生徒にとって使える道具として定着させるようにする。

まとめ・創造・表現の場面では、情報を整理・分析したものをもとに、体験した職場に恩返しができるよう、自分たちにできることを考え、企画する。また、企画を交流することで、他のグループの良いところを取り入れ、よりレベルの高い企画を考えさせる。

実行の場面では、生徒が体験した職場へ出向き、担当の方にも協力を仰ぎ、企画を実行に移す。また、実行に至らなかった企画についても、地域の施設や公民館などに掲示させる。

振り返りの場面では、本単元の活動を振り返り、付けたい力がどのようにして、どの程度身についたのかを文章で整理させ、自己評価を通じて自らの成長を認識させる。この活動を通じて、成果だけでなく課題解決の方法や、新たな願いや思いなどもしっかり書かせることで、今後の生き方に対する考えや地域へ貢献しようとする態度、総合的な学習の時間等における学習の探求心をさらに高めさせる。

## 単元の目標

単元の活動を通して、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすることで、働くことと向き合うことができる。

## 育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度		評価規準	
知識	知識・情報	知	①働くことの意義や意味を理解することができている。
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①日々の振り返りを自分の言葉でまとめることができている。 ②現状を踏まえ、これから何をすべきかを自ら決定することができている。 ③相手に、伝えたい内容を精選し、相手に分かりやすく伝える工夫をしている。
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら「働くこと」についての課題を見だし、課題解決の方法を考えようとしている。 ②自ら職場体験に向けての展望や決意を持つことができている。
価値観 倫理観	他者とのかかわる力	他	①「働くこと」について考えるために、地域の人と話し合うことができている。 ②「働くこと」についての課題や成果を他者と共有することができている。 ③グループで協力して目標や計画をたてることができている。
	社会貢献力	社	①「働くこと」について学んだことを地域に返すことができている。
	自己形成力	自	①「働くこと」についての課題解決に向けて、前向きにチャレンジしている。 ②単元を振り返り、「働くこと」とはどういうことか考えることができている。

## 単元と評価の計画

### 1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「働くことと向き合おう」 (5 8時間)							「自分の進路と向き合おう」 (1 2時間)				
	地域理解・社会貢献							自己探究				

### 2 単元と評価の計画

単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
働くことと向き合おう	情報の収集	1 2	○「働くこと」について交流する。 ・単元ガイダンスでねらいを知り、学習への見通しを持つ。(1) ・1年生での職業調べのまとめを用いて、「働くこと」に対する自分の捉えを見つめ直す。(1) ⇒ <u>自分にとって「働くこと」とはどういうことだろう</u>	【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	
	課題の設定	3 4	○いろいろな人から「働くこと」について話を聞く。 ・ゲストティーチャーの方や、保護者の方の「働くこと」ということについて話を聞き取り、「働くこと」の意義や厳しさを自分の捉えと比較しながら聞き、追究課題を設定する。(2) ⇒ <u>職場体験に向け、自分が身に付けなければいけないものや準備しておくべきことは何だろう。</u>	【知-①】 【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔国語 メモをとって話を聞く
	情報の収集	5	○職場体験をする事業所を決定する。 ・追究課題を基に、職場体験をする事業所を選択・決定する。(1)	【主-②】 (行動観察) (自己評価表)	

情報の収集	6 7 8 9 10	○決定した事業所と働くための事前準備を行う。 ・職場体験活動の目標や計画を立て、事前訪問を行う。 ①マナー教室を通して、接遇の基本を身に付ける。(1) ②電話などにより、訪問先と日時や持参物を選択・決定する。(1) ③事前訪問により、仕事内容や約束事等を整理する。(2) ④お互いの事業所について交流する。(1)	【他-①】 (行動観察) (他者評価表) 【思-③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔体育 集団行動 ・あいさつ ・礼 ・声の大きさ ⇔国語 敬語を使う
課題の設定 整理・分析	11 12	○体験を通して学習すべきことを整理する。 ・2つの視点で学習すべきことを整理する。(2) ①職場体験でどのような力をつけたいのか、どのような目標を持って職場体験に臨むのか再度整理する。 ②職場体験後に、自分たちなりの方法でお世話になった事業所へ形ある恩返しを計画・実行するが、それを想定したうえで、職場体験中にどんなところに意識を持って取り組むか、どういうポイントを日々の体験の中で観察していくかの視点や見通しを整理する。 ⇒職場体験で自分が本当に学ぶべきことは何だろう。 ⇒どんな視点で、職場体験を行えば、よりよい体験のまとめができるだろうか。また事業所の方に喜んでもらえるだろうか	【思-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔理科 道具や実験方法を考える (準備の段取りや計画性)
情報の収集	13 ～ 42	○体験活動から「働くこと」について情報を集める。 ・準備してきたことを基に職場体験を行う。(30)	【思-①】 (行動観察) (自己評価表) 【自-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔保健 人との関わりと自分らしさ ・社会性 ・中学生期における人との関わり方
整理・分析	43 44	○体験活動から学んだことを整理し、分析する。 ・職場体験活動を振り返り、ワークシートにまとめを記入する。(1) ・職場体験活動を振り返り、さらにその仕事を発展させていくために自分たちには何が出来るか考える。(1)	【社-①】 (行動観察) (自己評価表) 【他-③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔理科 実験結果から考察し、まとめを行う
創造・まとめ・表現	45 ～ 51	○体験活動で学んだことを表現する。 ・自分たちが体験した職場で役に立つものをつくる。(6) ・班・クラスで作成した制作物等を発表し、交流する。(1)	【思-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔国語 学習したことを自分の言葉で表現する
まとめ 課題の設定 創造・表現	52 53 54 55	○制作物について交流し、より良いものを作る。 ・自分の発表に対する評価シートを基にしたり、他の人の制作物等の良い点を参考にしたりして、制作物の改善点を考え、修正する。(4) ⇒学んだことを活かすためには、どんな事を返していけばいいだろう	【他-②】 (行動観察) (他者評価表)	⇔技術 作品を相互評価し、改善する
実行	56 57	○学んだことを活かし地域に返す。 ・作成した制作物をお世話になった事業所に届け、掲示してもらおう。また、考えたゲームなどの提案を実行する。(2)	【社-①】 (制作物) (自己評価表)	
振り返り	58	○単元を通して学んだことを振り返る。 ・制作物の評価をもとに振り返りを行い、次年度につながるようまとめを行う。(1)	【自-②】 (自己評価表)	

# 本時の学習展開

## ○本時の目標

職場体験活動を振り返り，さらにその仕事を発展させていくために自分たちには何ができるか考える。

## ○学習展開（44限目/58）

### 整理・分析

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <p>①本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場ごとにB3用紙2枚でまとめを行う。</li> <li>・職場でチームを組むことができれば協働制作も可能。</li> <li>・まとめの中身は，具体的な活動や，感謝の言葉など，チームごとに考える。</li> <li>・完成したものは，各職場や学校のHPに掲載する。</li> </ul> <p>(例1)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>体験レポート ○体験内容</p> <p>○インタビュー</p> <p>○学んだこと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○提案内容</p> <p>○感謝のことば</p> </div> </div>	<p>【職場体験のグループごとに集合する】</p> <p>①グループごとにできることを考えさせ，交流してチームづくりを行うことを知らせる。</p> <p>(例2)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>体験レポート ○遊び方</p> <p>○ルール</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">写真</p> <p>○感謝のことば</p> </div> </div>	
<p>【本時のめあて】 自分たちにできることを考えよう。</p>			
展開①	<p>2 職場ごとに振り返りを行い，できることを考える。</p> <p>①前時の体験の振り返りのまとめを参考にして，自分たちにできることをワークシートに記入する。(個)</p>	<p>①候補をいくつか書かせる。</p>	<p>できることを職場ごとに考えることができる。</p> <p>【他-③】 (行動観察)</p>
展開②	<p>3 同じ職種で考えたことを交流する。</p> <p>①考えたことを発表する。(全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できることをホワイトボードにまとめながらチーム分けをしていく。</li> </ul> <p>②共同制作ができる職場があるか検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードを参考にして検討する。</li> </ul>	<p>①ホワイトボードに記入して，内容が重なるところや，近いところがあれば色分けをする。</p> <p>②記入したホワイトボードをもとに，協同制作ができるか考えさせる。</p>	
まとめ	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>①交流した内容をふまえ，どのようなものを作成するのか，共同制作したいグループがあるか，ワークシートにまとめる。</p>	<p>①ワークシートを参考にして，チームづくり，内容の決定をする。</p>	<p>地域に返せるものを考えることができる。</p> <p>【社-①】 (行動観察) (自己評価表)</p>